

# 男子ホッケーU21日本代表チーム マレーシア遠征

日付	2015年2月16日 19:00～20:15	天候	曇り
場所	マレーシアクアラルンプール	通算結果	日本 3勝1分
試合	第4戦		

## RESULT

Country

**日本**  
U21

Final	<b>3</b>	-	<b>2</b>
Third Period			
Half-time	<b>2</b>	-	<b>1</b>
First Period			

Country

**マレーシア**  
U21

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	2	青山力也(東農大)			
✓	3	川村敬亮(明治大)			
	4	内藤 幹(立命大)			
	5	木下拓弥(立命大)			
✓	6	新井大地(立命大)			
	7	渡辺晃大(丹生高)			
✓	8	小沢 諒(山学大)			
	9	山崎晃嗣(山学大)			
✓	10	伊藤義一(山学大)			
✓	11	朝倉祐樹(山学大)			
	13	福田健太郎(天理大)			
	14	田中海渡(天理大)			
✓	15	落合大将(天理大)(C)			
	16	山水翼瑳(天理大)			
✓	17	山田翔太(天理大)			
✓	18	和久利裕貴(天理大)		65	
	1	高橋優成(駿河台大)(GK)			
✓	12	吉川貴史(天理大)(GK)			
✓	19	宮崎俊哉(早稲田大)			
	20	近藤辰徳(丹生高)	45		
Coach			坂本 実		
Manager			朱 光珍		
UMPIRE			K. Ligan		

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	11	Irdaus			
	7	Asnraf			
✓	28	Mohammad Ridzwan(GK)			
✓	3	Mohd Ashran B.Hamsani			
	7	Mokormraus			
✓	14	Muhd Amirrol Aideed (C)			
✓	10	Muhd Azwar B.Abd Rahman	32		
✓	7	Muhd Najim B.Abu Hassan			
✓	26	Muhd Najimi Farizal			
	10	Muhd Sufi Ismat			
	10	Nor AzrulB.Abd Rahman			
	10	NorsyafiqB.Sumantri			
✓	17	Rafizul EzryB.Mustafa			
	5	Raiz			
✓	22	Safeed B.Mustafa			
✓	13	Danial AsyrafB.Mustafa	28		
✓	15	Nik Muhammad Aiman			
	5	Amirul AflqB.Azhar			
	4	Alril Misron			
	12	Lulhelmy			
Coach			Arul Selvarai		
Manager			Mirmawan Nawawi		
UMPIRE			Nor Azhar Abidin		

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	8	山田翔太	PS	1-0
MAS	31	Alril Misron	FG	1-1
JPN	33	小沢 諒	FG	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	42	和久利裕貴	FG	3-1
MAS	43	Alril Misron	FG	3-2

試合前のアップがコート内で出来ない状況の中で、ボールに触れたのが試合開始の5分前であった。マレーシアシニア対エジプトシニアの試合が雨のため中断したからである。

日本は、この試合をマレーシア遠征の目標としている、決められない、守り切れないの克服に向けての総仕上げと位置付けた。立ち上がりから、マレーシアのペースで進む。日本は、攻撃の糸口を探していたところ、8分にNo.19宮崎が左サイドからドリブルを仕掛けサークルに入りPCを誘った。そのPCをNo.6新井のフックシュートがゴール前の選手の腕にあたりPSを獲得した。No.17山田がゴール左下に正確にフィードし先制する。その後マレーシアは果敢に攻撃にでもものの日本のDF陣を破ることができない。日本もPCを2本取るものの追加点までには至らない。31分にマレーシアはサークルトップから攻撃を仕掛け得点する。その2分後の33分No.14田中がNo.16山水からパスを受けサークルトップまでドリブルで入りサークル内に待っていたNo.18和久利へパスその返しをNo.14田中が受けシュートする。そのリバウンドをNo.8小沢がたたき込み追加点を挙げ引き離し前半が終了した。日本は後半に足が止ることで相手にペースを握られることが、第1戦、第3戦とあった。そのための修復としてコーチングをしっかりとすることで臨んだ。42分No.18和久利が左サイドからスピードとテクニックのドリブルで仕掛けエンドラインぎりぎりのDFを抜き去りGKと一対一となったところで倒れこみながらのシュートを決め3点目を挙げた。No.18和久利のシュートは芸術的で審判も一呼吸置いてからのホイッスルとなった。その直後マレーシアが一瞬のすきを突き43分No.5に決められた。第1戦、第3戦の繰り返しかと思われたが、日本はその後55分まで果敢に攻撃を仕掛けPCを3本獲得するも追加点には至らない。65分にNo.18和久利が積極的な守りをするも、審判はイエローカードと判定し、残り5分間を10人で戦うこととなった。その後、マレーシアは猛攻を仕掛けてくるものの日本のDF陣の前には歯が立たなく、そのまま終了となり、マレーシアU21との試合を通算4戦3勝1分だけで終了した。明日は、リーチの長いエジプトシニアとの一戦である。

今回の、マレーシア遠征で目標や多種多様な課題としていたものが、選手が肌でなんとなく感じ取ることが出来たのではないかと推測する。いずれにしても、2020東京五輪でメダルを取れるよう、選手、スタッフそしてホッケー関係者が一丸となってチームづくりをしていきたいと感じている。

日本U21		シュート数		マレーシアU21
	6	PC数	0	

次戦(第5戦) 2月17日(火) 9:30 ~ 日本U21対エジプトシニア 掲載責任者 男子U21責任者 坂本 実